

県 政 協 議 会

令和元年九月四日(水)

午前十時三十分

- 一、令和元年度九月補正予算(案)の概要について
- 二、知事の台湾及びタイ訪問結果について
- 三、その他



# 令和元年度9月補正予算（案）の概要について

令和元年9月4日  
(単位：千円)

## 一 予算規模

### 1 一般会計

補正額 713,853

補正後の規模 585,028,848

前年度9月補正後予算との対比  $\Delta 13,378,565$   
(2.2%減)

### 《補正予算の財源》

特定財源 672,128

国庫支出金 639,266

繰入金 7,095

県債 21,500

その他 4,267

一般財源 41,725

繰越金 41,725

## 2 特別会計

工業団地開発事業特別会計	143,848
地域総合整備資金特別会計	99,074
県立病院機構施設整備等貸付金特別会計	1,100,300

## 二 補正予算(案)の主な内容

今回の補正予算(案)は、秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業等について計上した。

### I 「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業

- (1) ㊦東北デスティネーションキャンペーン推進事業 2,674  
令和3年4～9月に開催されるデスティネーションキャンペーンに向け、東北6県等で構成する協議会の取組を推進する。  
・事業内容 ロゴマーク・キャッチコピー等の制作  
ウェブサイトによる情報発信
- (2) 重点市場におけるFIT誘客プロモーション事業 43,680
- ①台湾誘客促進事業 5,880千円  
・事業内容 県外空港発着便を利用した秋田泊旅行商品の造成支援
- ②タイ誘客促進事業 9,178千円  
・事業内容 仙台への定期便就航を契機としたファムツアー  
訪日関心層を対象とした広告配信
- ③中国・香港誘客促進事業 15,182千円  
・事業内容 SNS等を活用した動画配信によるPR  
富裕層を顧客とする旅行会社を対象としたファムツアー  
ウェブサイトでのFIT向けの旅行商品の掲載
- ④㊦東京オリ・パラを活用した誘客促進事業 13,440千円  
東京オリンピック・パラリンピック期間における本県へのインバウンド誘客の拡大を図るため、オリンピック・パラリンピックの観戦チケット付き秋田泊旅行商品の造成を促進する。  
・事業内容 公式チケット販売旅行会社を対象としたファムツアー  
秋田泊旅行商品の販売促進に向けた広告支援
- (3) ㊦東京オリ・パラ来訪者への東北誘客情報発信事業（広域観光連携誘客促進事業） 7,055  
東京オリンピック・パラリンピック期間に来日予定の外国人をターゲットに、東北地方への誘客を促進する。  
・事業内容 ビッグデータを活用した広告配信  
旅行エージェント等と連携した共同広告  
商談会及びファムツアー
- (4) 医療提供体制整備費補助事業 170,544
- 救急医療、へき地医療等に要する設備整備を行う医療機関に対し助成する。
- ①救命救急センター設備整備事業 13,057千円  
・補助先 秋田赤十字病院  
・補助率 2/3（国1/2、県1/2）

- ②病院群輪番制病院及び共同利用型病院設備整備事業 7,051 千円
- ・補助先 厚生連（平鹿総合病院）ほか1病院
  - ・補助率 2/3（国 1/2、県 1/2）
- ③NBC災害・テロ対策設備整備事業 7,298 千円
- ・補助先 秋田赤十字病院
  - ・補助率 10/10（国 1/2、県 1/2）
- ④地域災害拠点病院設備整備事業 599 千円
- ・補助先 厚生連（北秋田市民病院）
  - ・補助率 2/3（国 1/2、県 1/2）
- ⑤在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業 157 千円
- ・補助先 1診療所
  - ・補助率 1/2（国 10/10）
- ⑥へき地診療所設備整備事業 16,241 千円
- ・補助先 北秋田市（阿仁診療所）、仙北市（西明寺診療所）、大潟村（大潟村診療所）
  - ・補助率 1/2（国 10/10）
- ⑦へき地医療拠点病院設備整備事業 23,184 千円
- ・補助先 男鹿市（男鹿みなと市民病院）
  - ・補助率 10/10（国 1/2、県 1/2）
- ⑧へき地診療所施設整備事業 409 千円
- ・補助先 北秋田市（阿仁診療所）
  - ・補助率 1/2（国 10/10）
- ⑨有床診療所等スプリンクラー施設整備事業 102,548 千円
- ・補助先 2病院
  - ・補助率 10/10（国 10/10）
- (5) 総合周産期母子医療センター設備整備事業 10,937
- 安心して出産できる環境の整備を図るため、総合周産期母子医療センターの設備整備に対し助成する。
- ・補助先 秋田赤十字病院
  - ・補助率 2/3（国 1/2、県 1/2）
- (6) 在宅療養支援歯科診療所等機能強化事業 1,626
- 在宅医療における医科歯科連携を促進するため、医療機関が行う機器整備に対し助成する。
- ・補助先 1病院
  - ・補助率 2/3（県 10/10）
- (7) 地方独立行政法人秋田県立病院機構貸付事業（特別会計） 1,100,300
- 脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制を構築するため、循環器・脳脊髄センターの既存棟大規模修繕工事に要する資金を貸し付ける。
- ・事業期間 令和元～3年度
  - ・事業費 約27.6億円

- (8) 災害派遣精神医療チーム体制整備事業 2,866  
 災害時の精神保健医療ニーズに対応するため、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制を整備する。  
 ・整備チーム数 4チーム  
 ・構成メンバー 精神科医師、看護師、事務職員 等  
 (1チーム4名程度)
- (9) ㊦高齢者施設等防災・減災対策等推進事業 6,365  
 高齢者施設が行う非常用自家発電設備の整備に対し助成する。  
 ・補助先 社会福祉法人  
 ・補助率 1/2 (国10/10)
- (10) 次世代育成支援対策施設整備事業 10,312  
 乳児院が行う非常用自家発電設備の整備に対し助成する。  
 ・補助先 秋田赤十字乳児院  
 ・補助率 3/4 (国2/3、県1/3)
- (11) 制度融資事業【制度改正】 —  
 市中金利の動向及び消費税増税による県内経済への影響に対応するため、制度融資について貸付利率の引下げ等を行う。  
 ・改正内容 i) 令和元年10月1日から制度融資の金利を一律0.2%引き下げる。  
 ii) 令和元年10月1日から令和2年3月31日までの間「経営安定資金(通常枠)」の融資要件を緩和し「直近3ヶ月間の受注高又は売上高が、前年同期に比べて減少(現行:5%以上減少)している」方を対象とする。

## II 公共事業

- (1) 国庫補助事業 437,789
- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| ・土地改良 | 434,596 ( 15,532,884 → 15,967,480 ) |
| ・林野   | 2,193 ( 6,442,413 → 6,444,606 )     |
| ・農地防災 | 1,000 ( 4,639,841 → 4,640,841 )     |

## III その他

- (1) ㊦個人番号カード利用環境整備事業 2,676  
 個人番号カードを活用したポイントによる消費活性化策が円滑に実施される環境を整備するため、広報活動を行う。  
 ・事業内容 新聞や県広報誌への広告掲載、広報ポスターの作成

(2) 地域警察活動事業

6,134

近年、全国で発生している交番等での警察官襲撃事件を踏まえ、地域の安全拠点である交番等の安全対策を強化する。

・事業内容 防犯カメラの設置（交番・駐在所・警備派出所 148 施設）

<債務負担行為>

○会計年度任用職員制度の導入等に伴うシステム改修事業

(81,267)

令和2年度からの会計年度任用職員制度の実施等に伴い、財務会計システム等の改修を行う。



## 知事の台湾及びタイ訪問結果について

令和元年 9 月 4 日  
観光文化スポーツ部  
農 林 水 産 部

8 月 21 日から 24 日にかけて、知事をはじめ県内 10 市町の首長等や民間企業・団体の代表など計 49 名が台湾を訪問し、航空会社や旅行エージェントに対しチャーター便運航の要請や誘客促進に向けた観光 PR 等を行った。

また、25 日から 28 日にかけてタイを訪問し、東北各県の知事などと共に東北観光推進機構主催のトップセールスに参加して、観光関係者に対し東北の魅力をアピールした。

併せて、秋田牛の認知度向上と輸出拡大を目指した PR イベントを、それぞれの国・地域において開催した。

## 1 台湾訪問

## (1) 航空会社訪問

現地の航空会社 3 社を訪問して今後のチャーター便の運航拡大を要請したところ、遠東航空からは、11 月以降、当初計画どおり週 2 往復運航する旨の説明があったほか、その他 2 社からは、チャーター便の運航を前向きに検討したいとの意向が示された。

## (2) 秋田県観光交流懇談会

「秋田県観光交流懇談会」を開催し、台湾からの一層の誘客促進に向けて、現地の航空会社及び旅行エージェント等 36 団体の関係者に対し、観光プレゼンテーションを行ったほか、幅広く意見交換等を行った。

## (3) 高雄市訪問

高雄市政府を訪問し、国際交流協力に関する覚書の更新を行うとともに、葉副市長らと今後の更なる交流拡大などについて意見交換を行った。

## (4) 秋田牛 PR

台北市内の会員制高級スーパー「美福スーパー」において秋田物産展を開催し、富裕層向けに秋田牛をはじめ、米、日本酒、卵などの県産品の PR と売り込みを行った。

## 2 タイ訪問

### (1) バンコク・日本東北交流懇談会

東北観光推進機構主催の交流懇談会に参加し、タイ政府関係者や航空会社、旅行業関係団体等に対して、各県の知事等が各地域の魅力をアピールするとともに、10月末に就航する仙台・バンコク定期便の活用を視野に入れた、今後の観光交流のあり方について意見交換を行った。

### (2) タイ国際航空表敬訪問

各県の知事等と共にタイ国際航空を表敬訪問し、仙台・バンコク定期便の運航再開に対し謝意を示したほか、東北地方への送客の拡大について協力を要請した。

### (3) 秋田牛PR

バンコク市内でレストラン、観光、マスコミ関係者等を招いた試食会を開催し、秋田牛の一層の認知度向上と輸出拡大に向けた働きかけを行ったほか、タイ王国パラリンピック委員会のピロバクティ会長を「秋田牛アンバサダー」に委嘱し、秋田牛ファンの獲得と販売拡大に向けた協力を要請した。

## 3 今後の対応方針

### (1) 台湾

航空路線の将来の定期便化も視野に入れながら、定期チャーター便の継続運航や季節チャーター便の運航拡大について航空会社への働きかけを強化するとともに、引き続き現地旅行エージェントに対してチャーター便を活用した商品造成を働きかけるなど、更なるインバウンド誘客に取り組んでいく。

### (2) タイ

訪日タイ人観光客が増加する中、仙台・バンコク定期便が就航することから、現地旅行エージェントに対して商品造成に向けたセールスを強化するほか、SNSやメディアを活用した情報発信を行うなど、FITが主流となっているタイからの誘客に取り組む。

### (3) 秋田牛PR

台湾やタイへの輸出量が増加傾向にあり、今般の訪問を契機に、現地の流通関係者や取扱店との連携を強化し、一層の知名度向上と輸出量の拡大に取り組んでいく。